

令和8年2月定例市議会

行政報告要旨

総社市

本日、2月定例会市議会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、万障お繰り合わせの上ご出席くださりまして、誠にありがとうございます。また、日頃から市議会の皆様には、議会運営に格別のご配慮を賜り、重ねてお礼申し上げます。

一昨日の「2026そうじゃ吉備路マラソン」は、多数のボランティアのご協力の下、無事開催することができました。多くのゲストランナーにもご参加いただき、大会を大いに盛り上げていただきました。また、黒田朝日選手、黒田然選手にはトークショーにも出演いただき、各種おもてなしの強化と合わせて、参加された多くの皆様方に喜んでいただけた大会だったのではないかと感じております。これも議員各位をはじめ、多大なるご協力をいただきました皆様のおかげであり、深く感謝いたします。

さて、本議会においては令和8年度当初予算をご審議いただくことが最も大きな議題と考えております。来年度は、新

たに策定した第3次総社市総合計画が始まる年度であり、5年間の前期基本計画のスタートとなります。計画に掲げた将来都市像「挑戦 岡山の新都心 総社 ～全国屈指の福祉文化先駆都市～」の実現に向けて、初年度から全力疾走してまいります。

これまで、総社市が大切にしてきた、日本一市民にやさしいまちを創るという基本理念を継承し、幸せを感じながら総社市で暮らす市民が増えていくことを目指し、様々な政策をシンカさせてまいります。その結果、「総社市に住んでよかった」「これからも総社市に住み続けたい」「これから総社市に住んでみたい」と思うような人が増え、総社市での生活が夢と希望にあふれたものとなるようにしていきたいと考えております。

そのような思いを込めて第3次総社市総合計画元年である、令和8年度予算を「夢と希望へのキックオフ予算」として編成いたしました。一般会計予算総額は、343億8千万円、前年度と比較し6億7千万円の減額、率にして、1.9%のマイナスとなっております。

この予算の中で大きく3つの柱を立てて、政策を推進したいと考えております。

1つ目の柱は、土台を支える取組の「シンカ」であります。夢と希望を持ち、未来に進んで行くためには、不安を無くすことが必要不可欠であります。これまで実施してきた福祉政策を充実させるべく、「シンカ」させていきます。

例えば、公共交通という生活の重要な役割を担っている雪舟くんの強化に取り組みます。朝のラッシュ時である8時台の予約が困難であるという声に応えて、増便ができるよう予算計上をしているところであります。

また、ハード面においては、道づくり予算を1億円計上し、生活に必要な道路を守るなど、インフラ整備を実施してまいります。

さらに、新庁舎建設の延長として、倉庫棟の建設にも着手いたします。防災備蓄倉庫としての機能も兼ね備えた倉庫棟にすることで、有事の際に市民を守り、安心を支えるための施設として建設していきたいと考えております。

2つ目の柱は、若者が集うまちづくりの「シンカ」であり

ます。第3次総社市総合計画では、こども・若者が主人公になれるまちを基本施策の1つとして掲げており、他の基本施策と合わせて、若年層への政策を充実させてまいります。

教育環境の「シンカ」として、小中学校の特別教室及び中学校体育館への空調設備の設置を進めます。また、新たに、昭和五つ星学園へ、スクールソーシャルワーカーを配置するなど、こどもたちが安心して学べる環境づくりのため、投資してまいります。

そして、待機児童解消に向けて、4月から開所する2園を含めた、市内の私立保育所への運営委託の実施や令和9年4月開所に向けた私立保育所の整備事業への補助の実施など、子育て環境の充実を図ってまいります。

さらに、こども・若者がチャレンジできるまちを目指していきます。これまで、若者からの集う場所が少ないという声などに応えきれていませんでした。若者が集い、自分たちがやってみたいと思うことに、チャレンジできるような仕組みや、夢や希望を叶えることができるような環境を創るなど、ソフトとハード両面から、若者の声に応えていけるよう進め

ていきたいと考えております。

まちづくりにおいては、空き家の利活用を進めるため、空き家活用促進区域を設定します。この区域の設定により、総社駅、東総社駅、商店街通りのエリア一体のまちづくりを進めるなど、設定エリアの活性化に力を入れていきます。また、市街化調整区域の土地規制により、ポテンシャルを活かしきれていなかった古民家の活用などに踏み込み、空き家利活用の在り方に風穴をあけることにチャレンジします。

3つ目の柱は、未来への「シンカ」であります。総社市で新規創業する方に対して、創業助成金を交付することで、総社市で夢や希望を叶えたいと思う方を支援していきます。新たなビジネスチャンスを生み出し、地域経済の活性化を図り、やる気溢れる方々と共に「シンカ」していきたいと考えております。

また、これまで、デジタル技術の活用により、行政事務の効率化や市民の利便性向上を進めてまいりました。この取組をさらに一段引き上げ、AI技術の活用を大きく「シンカ」

させていただきます。まずは、A I の活用方策を検討する庁内チームを立ち上げ、市役所業務の効率化、外国人対応の通訳業務そして教育現場での事務の効率化などを進めていきたいと考えております。そして、A I の活用によって生まれた時間を使って、市民サービスの向上や質の高い教育の提供という市民への還元につなげていきます。

これら3つの柱を軸とした政策について、新たな総合計画に掲げる、3つの「シンカ」を追求しながら取り組むことで、日本一やさしいまちの真価の発揮を目指してまいります。

また、本議会においては水道料金と下水道使用料の改定について、条例案を提出いたしております。令和7年10月から審議がスタートした、総社市水道料金等検討委員会から、答申いただいた内容を基に、水道料金を平均25%、下水道使用料を平均15%引き上げるものです。

管路や施設の老朽化への対応をはじめ、安全で安心できる上下水道を未来にわたり使い続けていくための必要な投資

であると考えております。苦渋の決断ではありますが、ご理解をいただきたいと思います。

ここで、11月議会での検討事項について、その結果をご報告いたします。

山名議員から、道路のラバーポールや反射板の破損について、市公式LINEを活用した通報での把握を行わないのかとのご提案がありました。これについては、市道の不具合に加え、道路付属物の不具合も通報できるように市公式LINEの改修を行い、1月19日から受付を実施しているところであります。

また、山田議員から、カスタマーハラスメント条例制定に向けての基準整理・検討状況はどうかとご質問をいただきました。これについては、市役所における基本方針やマニュアルなどを定めたガイドラインを、令和8年4月1日から施行できるように準備を進めているところであります。

冒頭にもお話したとおり、夢と希望へのキックオフとなる

よう，これまで以上に，議員の皆様と自由闊達で活発な議論を重ねることができることを祈念しまして，私からの行政報告とさせていただきます。